

汐時計仕掛けの家

都会を離れ、自然の中で流れるありのままの時間を大切に生きる家族の家。
それはゆっくりと流れる「時間」を通して風景と調和し、
自然の流れに身を任せながら漂う暮らし描き出す。



00 背景—人工の時間、自然の時間

生活の中で流れている「時間」について考える。忙しく時間が流れる都市から離れた自然に囲まれた場所では、過ぎ行く時間は同じなのにも関わらず、時間の流れる速さが遅く感じるのはなぜだろうか。このような場所では、そこでしか得られない生き方や価値観、時間を通して風景を共有する喜びがある。生産性や効率性が重視されている都会の中で流れる人工的な時間ではなく、自然の中で流れる時間にゆっくりに漂うように生活する一家の暮らしを提案する。

01 計画敷地—徳島県鳴門市「ウチノ海」

島田島

ウチノ海

大毛島

ウチノ海全体図

渦潮の巻く荒々しい鳴門海峡に対し、内湾にある静かで美しい内海の「ウチノ海」。内海とともにある生活を営む人々は、ゆっくりとした自然の時間の中で暮らしている。現在は牡蠣（かき）やわかめの養殖や、海に浮かぶ筏での釣りが行われている。

02 形態—筏を擁する家の平面ダイアグラム

①筏を浮かべる

②3つのボリューム

③ボリュームをつなげる

ウチノ海に浮かぶ標準的な筏（約5.4m×17m）を生活の空間として、海に浮かべる。

民宿としての「宿屋」、共用スペースである「筏屋」、一家が暮らす「母屋」の3つのボリュームを筏のまわりに配置する。

棧橋や塔がボリュームのスキマに入り込むことで、それぞれの室を自然要素がつつなぎあわせる。

03 汐時計—潮汐によって変化する新しいライフスタイル

潮汐データ

干潮時

満潮時

筏のレベルが下がることにより、広々としたスキマが生まれ、海への視線が抜ける。

筏のレベルが上がることにより、筏が他の部屋と視覚的・空間的に接続され、筏が家の中心になる。

家族構成

- 父：漁師（養殖業）
- 母：民宿経営
- 長男：中学1年生
- 次男：小学3年生
- 長女：3歳児

04 構成—可変性を持った、風景と調和する建築

母屋

筏屋

宿屋

筏

棧橋

【子ども部屋】

将来子どもが家を出た後に、スラブと壁を外して庭と一体につかうことができる。

【宿泊スペース】

民宿の宿泊規模拡大に応じて筏と宿屋が広がる余地をつくる。

【ウチノ海でみられる構造物】

可変性を持った建築は、一日や、一年の時間軸だけでなく、一生の時間軸で変化する。建物の軸方向に増改築の余地を残しておくことで、一家のライフスタイルの変化に対応する。また、建築を構成する部分にウチノ海でみられる構造物を取り込むことで、建築が風景の一部となる。

05 配置計画

等高線間隔:400m

満潮ライン

住宅地方面

作業場方面

配置図 1/1000

06 断面計画

筏屋

筏屋屋根最高高さ HL+7000mm▽

筏屋2階▽

筏屋作業場 HL+200mm▽

近所の漁師さんやお客さんと集まってテーブルを囲む

線線が集まる

海風(日中)

陸風(夜)

海上に浮かんだ宿屋 満潮時には筏と繋がる

客室屋根最高高さ HL+5700mm

客室屋根裏

客室

テラス

トイレ

海への眺望

満潮時水面 HL±0mm

干潮時水面 HL-1600mm

潮が引いた時だけ通ることができる釣り場への道

アママを主とする海藻が形成する海のゆりかご

獲った魚や貝を置いておく

子どもたちがのびのびと遊べる屋根裏の子ども部屋

母屋

母屋最高高さ HL+5700mm▽

子ども部屋

キッチン

ダイニング・応接間

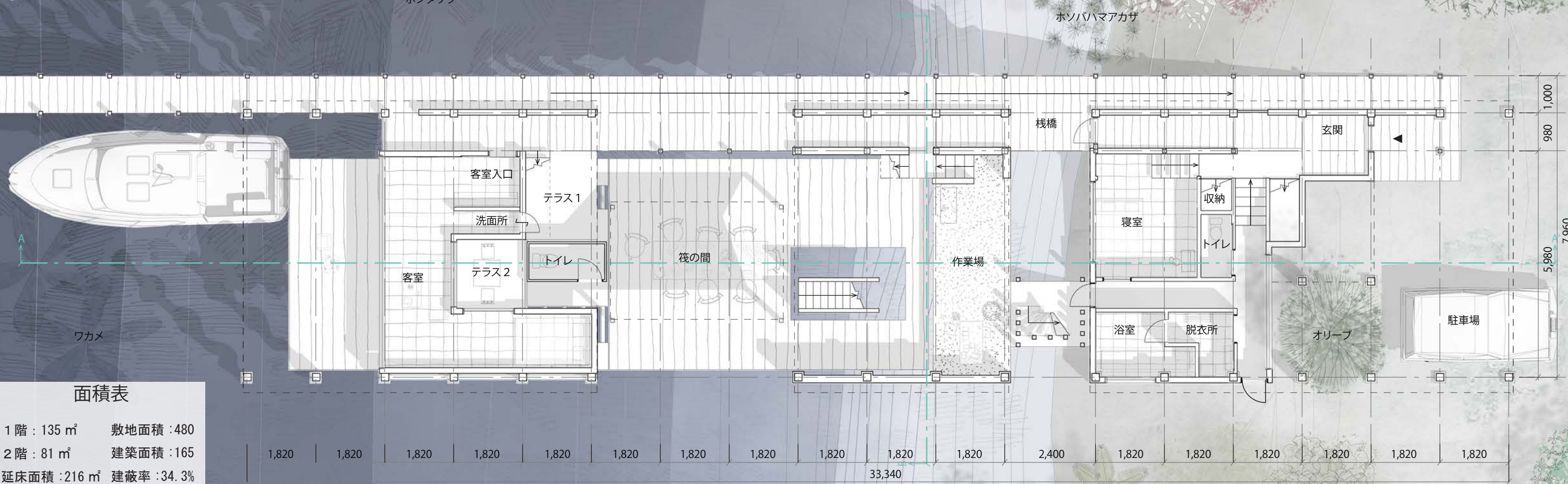
母屋2階▽

母屋1階 HL+200mm▽

陸の自然と繋がる床下の庭

AA' 断面図 1/100

2306048



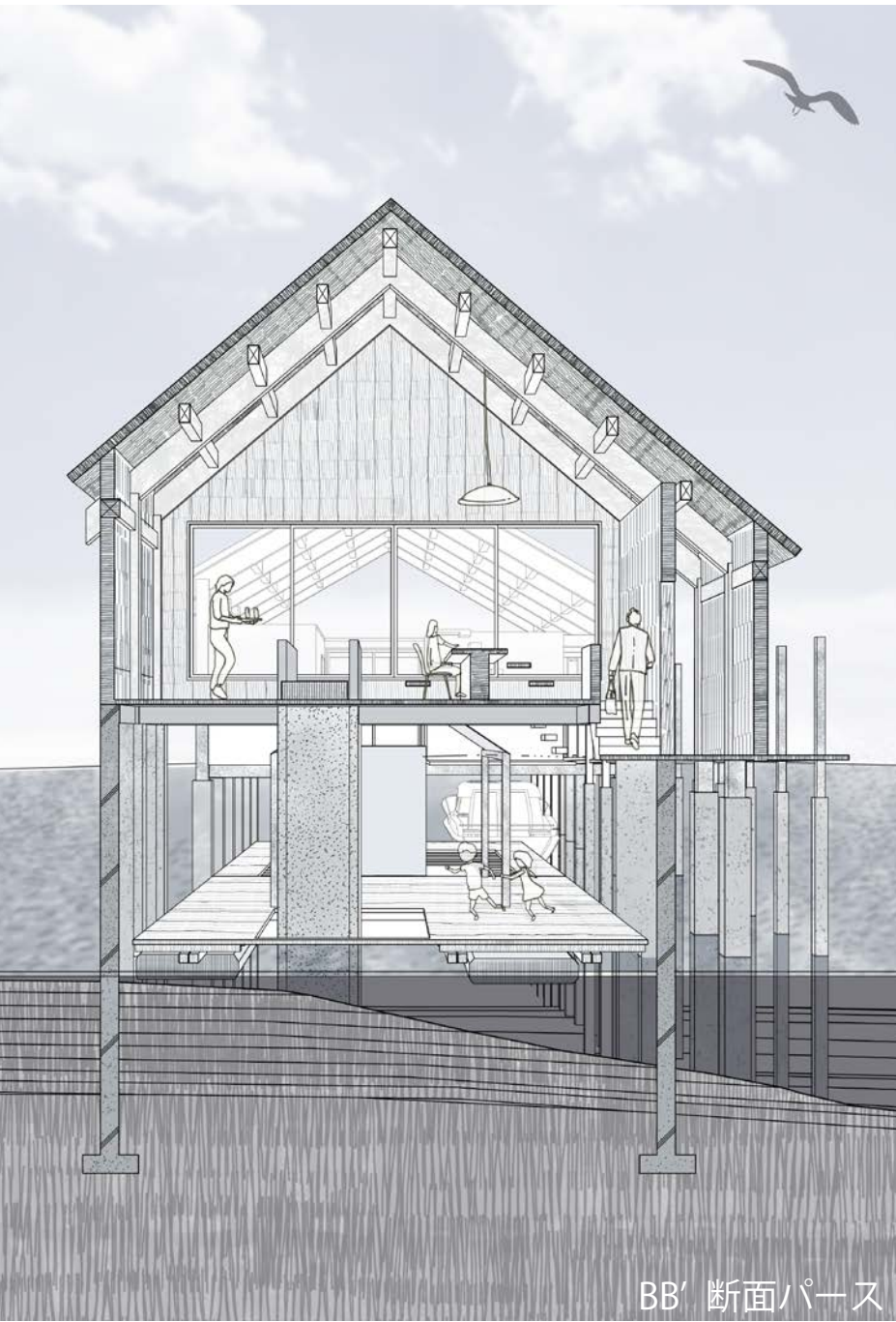
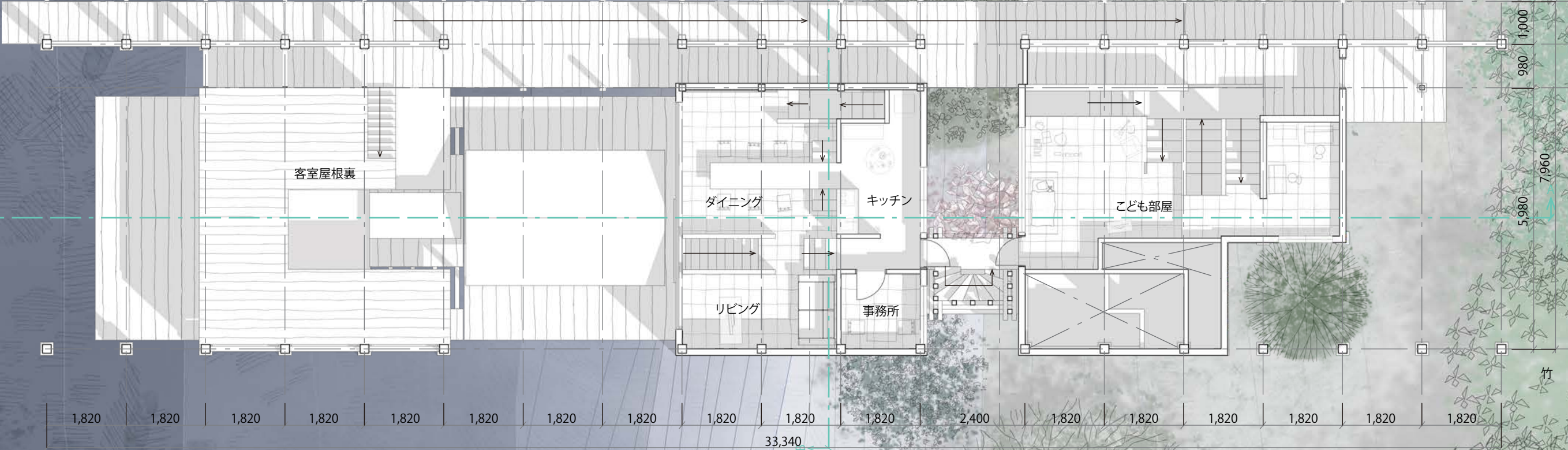
面積表

1 階 : 135 m ²	敷地面積 : 480
2 階 : 81 m ²	建築面積 : 165
延床面積 : 216 m ²	建蔽率 : 34.3%
筏面積 : 74 m ²	容積率 : 45.0%

植栽計画

- ・ウバメガシ
- ・竹
- ・ボタンボウフウ
- ・ハマサジ
- ・ウラギク
- ・アカメヤナギ
- ・ハマヒルガオ
- ・アッケシソウ
- ・ホソバハマアカザ
- ・ハマツナ
- ・オリーブ
- ・アマモ
- ・ワカメ
- ・ホンダワラ

現地に分布する植生や海岸沿い地形に適し、季節の移ろいによって変化する植生を計画する。



朝【満潮】
筏屋

朝目覚めると筏の屋根が景色を切り取る。お父さんの仕事場が見えるかな。

夕【西旦】
母屋

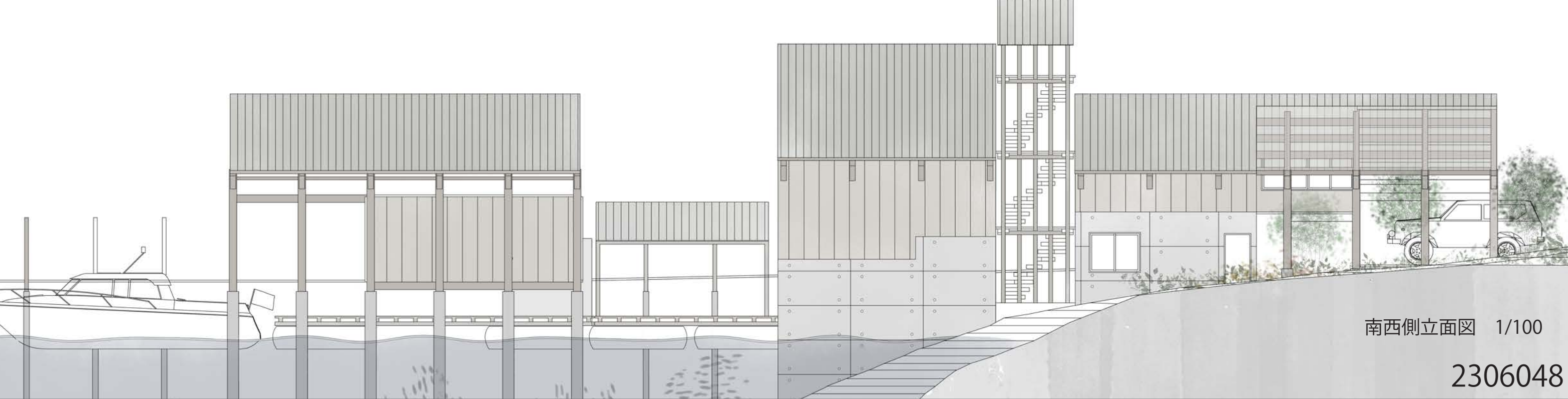
木洩れ日が射し込む夕時。豊かな陸の恵みを感じるひととき。

屋【干潮】
筏

干潮が来たからそろそろお屋にしよう。広くなった筏でバーベキューを楽しむ。

晩【満潮】
宿屋

宿屋と筏が一体となる夏夜の満潮。夜風と潮騒に包まれた穏やかな空間。



南西側立面図 1/100